

まだまだ 二つの意味を持つ川柳

青野正宏

-----こじままじこさん 24年6月作品より着想-----

「親父め おれの意見を無視しやがった。え、もうすぐ潰れるて本当かよ おれの意見を聞かないからとうとう会社をだめにしやがった」

そこで三句 この案は だめだとうさん(通さん 父さん) 却下する。  
この会社 潰れるまじか(マジか 真近) どうしよう  
会社をば 潰してしまった とうさん(父さん 倒産)だ

作家「ああ旅行が終わったな そうだ出版社から頼まれていたものを書かなければ」  
そこで一句 旅に出て 帰って作る きこうぶん(紀行文 寄稿文)

「お、あの家はいまだに茅葺屋根だね 昔のままだね」  
そこで一句 古民家は 昔のままで かわらない(瓦ない 変わらない)

「えーあまりいい状態ではないですね 対策もとっていたのですが思わしくないですね  
どうなるか今見守っているところです」  
そこで一句 ちゅうしする(中止する 注視する) それはやらない ことを言う

「ちゃんと都度連絡しろといったのに 何も連絡よこさない どうも信頼がおけるやつではないな」  
そこで一句 連絡を しろと言ったに たよりない(便りない 頼りない)

「あの人、金が必要だから大事にしていた宝売ったね。人には頼らず自分でなんとかやっ  
ていくという気概があるな」  
そこで一句 あの人は 財宝売って たからない(宝ない たからない)

「ああ、これこれ、そんな悪戯しちゃいけないよ。・・・ああ素直にいたずらやめたね。や  
ったことはなかったことにしよう。 褒美にこのおもちゃをあげよう」  
そこで一句 おりこうね いたずらをやめ つみきえる(罪消える 積み木得る)

「いいですか この薬は間違いなく 一日おきに飲んでください」  
そこで一句 服用は かくじつ(確実 隔日)にとの 薬剤師